

人生ハンド仏句

第144号

H. 26. 3. 1

(毎月1日発行)

右脳・左脳

住職 谷川寛俊

最近、「もの忘れ」、「よく聞き取れない」「人の名前がすぐに出てこない」などといった老化現象が現れてきました。(先輩諸兄からはまだまだ若いと言われるそうですが…?)

人間の記憶力は二十代をピークに少しずつ減退していくそうです。人間の脳は、ごく簡単に言えば、左脳・右脳・間脳から成り立っているそうです。生まれてから八歳頃までは、右脳が中心となって働き、その後、大人になるに連れて左脳はごく限られた情報を低速で処理していきます。右脳は、膨大な量の情報を高速で処理していきます。

なるほど子供の記憶力がものすごくいいのは、周知の通りです。大人になるにつれて、記憶力が落ちていくのは、左脳中心人間へと変わっていくからだそうです。

ところが大人になっても、右脳の回路を開くことが出来るというのです。現在では、右脳回路を開く「右脳教育」が、記憶力の増大、英会話の習得などの勉強、病氣治療、心の問題等、さまざまな分野で活用され始めているとのこと。その効果は絶大で、集中力・発想力・行動力を増やすことが出来、今や右脳教育や能力開発は全世界へと広がり、注目的となっているようです。

では、どのようにすれば良いのか、まず第一に右脳が働きやすい環境を作り、瞑想し、呼吸を整えること。右脳は瞑想状態の脳波で最も働きやすくなるそうです。そして自分の願いがすでに叶っている姿をイメージ

「人生ハンド仏句」と打ち込んで頂けば、ホームページにつながります。

編集・発行
玉蓮山 真成 寺
編集部 谷川久仁子
TEL・FAX 0765-22-2268

し、想像するのです。

そして左脳で認識できない二倍速三倍速以上のスピードで、英語や日本語の文章を耳で聞き、それにあわせて声を出す練習をし、音読を続けていけばやがて、暗唱できるようになり、次第に右脳回路が開いて、活動が盛んになるというのです。

心を感じ、人生を味わい、創造する力を増やせば、集中力・行動力・発想力が増えるのは当然のことです。試験勉強のような一夜漬けの知識は、左脳記憶なので、すぐに忘れてしまうのです。完全暗唱の記憶は右脳記憶なので忘れることはないのです。

私は、毎年十二月に市内の老人ホームの施設三方所に法話にお邪魔させて頂いていただいています。ある施設の院長先生が仰っていました。

「不思議なもので、普段言う事を聞かないおじいちゃん、おばあちゃん達が、童謡を歌う時と、お経を聞く

時だけは、すごく静かで落ち着いているんですヨ」と。
右脳教育とは、左脳という壁を破って「無限なるもの」に出会うことかもしれません。
やはりお経(お題目)を唱えるという事は、老若男女問わずとても大切なことなのであります。



◎春季お彼岸法要

・三月二十一日(金)

・午前十時半

・午後一時

お給仕(お講)当番は、魚津一班の

方々です。どうぞ宜敷くお願い

いたします。

◎端彼岸

・三月二十四日(月)

・午後一時半

お参り終了後、皆さんでぼた餅を頂きましょうね!



お知らせ

◎水子供養会

・毎月十二日・午後一時半〜

どなたでもお気軽にお参り下さい!

◎唱題行脚

・毎月二十八日

・午後一時半より三時半頃まで

先月の参加者

谷川寛敬・伊藤宗治・土居可久子・

高田富美子・谷川まり子・谷川久仁子

午前中は、ひよっとしたらお昼から雨?なんて思っておりましたが、先月もお蔭様で、雨が落ちることもなく、無事に回って参りました。

でも、風は冷たく時折強く吹いていたので、大変でしたね!

お疲れ様でした。

だんだん気候も良くなってまいります。

ご一緒に行脚に出られませんか!

本堂屋根改修(銅板葺き)の案内について



て、お寺というものが成り立っているんだなあ...と改めて考えさせられました。

本堂屋根の改修工事は、今月早々着工する予定です。

本堂は、檀家さん信徒さん皆さんのお堂です。

貴家からも、少しでもかかわって頂ければ、今後より一層の愛着と、ご先祖様に対する功德が

積まれるものと考えています。何度も申しますが強制でもなければ、金額の多さでもありません。

布施というのは、義務ではありません。その真心や信仰心から発するものと思えます。

その尊い真心や信仰心に届くことを願いまして、今月号も当欄を再度ご案内させて頂いた次第です。

どうぞお気軽にお問い合わせください。お待ち申し上げます。

お持ちくださる方がおられました。そんな奇特な方々に心を寄せて頂きましたこと、まずもって御礼申し上げます。

やはり多くの皆さんの心が集まっ

した。

住職 谷川寛俊

合掌